

## 平和行進について

平和行進は1958年6月20日、日本山妙法寺の故西本敦上人が「地球上から核兵器を追放することを国民に呼びかける」ために同寺の僧が中心になって歩いたことが始まりです。翌59年にも広島に向けて東京・沖縄・新潟から行進が行われ、以来毎年続けられています。

1958年の第1回平和行進から66回、核兵器の廃絶と平和を求めて歩く行動は、平和を願うすべての人が、一歩でも二歩でも一緒に歩くことによって行進はリレーされ、その願いや想いも紡がれ引き継がれます。こうして平和行進は誰もが参加できる国内最大の反核、平和運動として受け継がれてきました。

愛知では、かつて市民生協を中心として取り組んだ市民平和行進と国民平和大行進を統一して結び、一緒に歩くためにできた「あいち平和行進共同連絡会」（1995年スタート）が母体となり、「あいち平和行進」（2001年～）として全国の平和行進の一環で愛知県内を歩いています。

